申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

《判断結果一覧表》

- (I) 教育に関する目標
- ① 教育の内容及び成果に関する目標 計画番号1-1-2-1

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」に修正願いたい。

【理由】

(国際学位プログラム)

平成25年度のカリキュラムタスクフォースにおける検討の結果、平成26年10月入学者用カリキュラムの編成を行った。その結果、コア科目・準コア科目の仕組みは、全ての国際修士プログラムに適用されており、カリキュラム体系化は、既に達成されている。

(国内学位プログラム)

独自に運営されていた5つの国内プログラムを、1つのプログラムの下、7つのコースとして整理・統合し、その全てのコースに共通の必修科目・選択必修科目を設定したこと、その後着実に運営を行っていることからカリキュラム体系化は達成されている。さらに、条件を満たす全ての対象プログラムがコース制に移行したこと、カリキュラム編成についても、共通の必修科目・選択必修科目の設置に加え、各コースに必要な科目について『コース指定科目』を設けたことから、カリキュラムの体系化をより推進できた。

特に、国内学位プログラムについて、カリキュラムの枠を超えて、一つの基幹教育プログラムに他の教育プログラムを整理統合する組織改革を実施しており、「カリキュ

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

ラムの体系化の促進」の計画を実施した結	
果として、特に優れた成果をあげているこ	
とは明らかであるため。	

申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

- (I) 教育に関する目標
- ① 教育の内容及び成果に関する目標 計画番号1-1-3-1
- ③ 学生への支援に関する目標 計画番号1-3-1-1

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」に修正願いたい。

【理由】

本学では、「グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム」が文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」として平成25年度に採択されたことを受け、国内外の政・財・官等の分野で現代世界の諸問題を解決する意思と能力を持ったトップリーダーを養成する新たな修士博士一貫プログラム(GRIPS Global Governance Program (G-cube))を立ち上げた。

このG-cubeで採用された<u>チュートリアル</u> 形式による授業は、これまでの少人数教育 とは違った、格段に高度できめ細やかな修 学上の指導を行うものとなっている。

新しいチュートリアル形式の授業を開講したことは、授業方法の工夫、きめ細やかな修学上の指導の実施等の取組を計画的に実施した結果として、特に優れた成果であるため。

(※) <u>少人数で行うチュートリアル形式の</u>授業

学生のプレゼンや討論を通じて特定のトピックについて集中的に学ぶ双方向の授業。教員や学生同士が分析・反論・批評など、密な議論を通じて、個別の政策課題に関する深い知見と

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

分析能力を習得する。	
グローバル、先進国、新興国、途上	
国の4つの政策課題クラスターのう ち、少なくとも2クラスターから3つ	
以上のチュートリアルを履修するこ	
とを義務づけ	

申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

- (I) 教育に関する目標
- ② 教育の実施体制等に関する目標 計画番号1-2-1-3

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」に修正願いたい。

【理由】

英語で講義・指導のできる教員を確保するため、国際公募を実施し、第2期中期目標期間中に計9名(うち外国人4名)の教員を採用した。このような取組を通して常勤教員に占める英語で講義・指導のできる教員の割合は8割を超えている。

英語で講義・指導できる教員の割合が全体 の8割を超えていることは、英語で講義・ 指導のできる人材を確保する計画を実施し た結果として、特に優れた成果であること は明らかであるため。

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

申立ての内容 申立てへの対応 《判定結果一覧表》 【対応】 原案のとおりとする。 【評価項目】 (I) 教育に関する目標 ② 教育の実施体制等に関する目標 【理由】 当該中期計画に係る取組がなされている 計画番号1-2-2-3 ものの、達成状況報告書等からはその成果 が「優れている」とまでは確認できない。 【原文】 判定「おおむね良好」 【申立内容】 判定を「良好」に修正願いたい。 【理由】 チュートリアルの実施、ワークショップ の充実など、アカデミックライティングセ ンター (AWC) を充実させる計画を実施し、 英語・日本語教育の手法の研究開発、学習 機会の提供等を行う全学横断的な教育組 織(プロフェッショナル・コミュニケーシ ョン・センターCPC)を設置した。 このAWCを組織改編し新たな機能役割を 担うCPCを設置したことは、本学の教育課程 に応じた多様で柔軟な英語教育を提供し、 学生の日常的な学習や論文執筆を支援する 取組を計画的に実施した結果として、特に 優れた成果であるため。

申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

- (Ⅱ)研究に関する目標
- ① 研究水準及び研究の成果等に関する目標

計画番号2-1-1-1

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」に修正願いたい。

【理由】

前中期目標期間中と比較して3.8倍の件数のリサーチ・プロジェクトを実施し、研究基盤の整備を行った結果、各プロジェクトの成果である論文が交通分野、エネルギー分野等の各分野で国際的に評価の高い雑誌に掲載されるなど、第二期中期目標期間中に、リサーチ・プロジェクトを通じて、雑誌論文等309本、図書25冊、学会等の口頭発表305回の成果を上げている。

これは、<u>前中期目標期間中と比較して3.8</u> <u>倍の件数のリサーチ・プロジェクトの支援</u> <u>を計画的に実施した結果として、特に優れ</u> た成果であることは明らかであるため。

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

- (Ⅱ)研究に関する目標
- ① 研究水準及び研究の成果等に関する目標

計画番号2-1-1-3

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」に修正願いたい。

【グローバルCOEプログラム「東アジアの開発戦略と国家建設の適用可能性」、科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』基盤的研究・人材育成拠点整備事業等の競争的資金による多様な研究が実施された。

第2期中期目標期間中に、科研費の受入額 は約2倍、受託研究受入額は約1.5倍に増加 したことは、多様な競争的資金の獲得によ る研究が計画的に実施された結果として、 特に優れた成果であることは明らかである ため。

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

申立ての内容

申立てへの対応

判定結果一覧表》

【評価項目】

(Ⅱ)研究に関する目標

① 研究水準及び研究の成果等に関する目標

計画番号2-1-2-1

(Ⅲ) その他の目標

① 社会との連携や社会貢献に関する目標

計画番号3-1-1-1

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」と修正願いたい。

【理由】

本学の主催するGRIPSフォーラムでは、第 2期中期目標期間中に、各国首相等を講演 者としてGRIPSフォーラムが計92回開催さ れた。前ASEAN事務総長、元タイ国務大臣、 タンザニア副大統領、国際連合大学長、オ ーストラリア在英国高等弁務官、国際協力 機構理事長といった国際的に著名な研究者 等が集う環境が構築されている。

各界から国際的に著名な講演者が本学で 登壇する環境を構築したことは、知的コミュニティ形成するための取組を計画的に実施してきた結果として、特に優れた成果であるため。

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

申立ての内容

申立てへの対応

《判定結果一覧表》

【評価項目】

(Ⅲ) その他の目標

① 社会との連携や社会貢献に関する目標 計画番号3-2-2-3

【原文】

判定「おおむね良好」

【申立内容】

判定を「良好」と修正願いたい。

【理由】

本学では、国別に過去のプロモーションの実施頻度、受入学生数の推移、及び学生アンケートなどを勘案し、毎年度プロモーション計画を作成した上で、関係機関を訪問し、広報活動を行うなど留学生受入れのためのプロモーション活動を実施することで、世界60以上の国や地域からの留学生を受け入れており、その割合は53.7%に達し、総学生数約400名の小規模大学としては突出した国際性・多様性を実現しており、特に優れた成果であることは明らか。このように多様な国・地域からの留学生を受け入れたことは、プロモーションを計画的に実施してきた結果として、特に優れた成果であることは明らかであるため。

【対応】

原案のとおりとする。

【理由】

当該中期計画に係る取組がなされている ものの、達成状況報告書等からはその成果 が「優れている」とまでは確認できない。

なお、意見の内容の一部については、達成状況報告書等から確認できない。